

令和5年度 図工科 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心となる単元、 ◆カリキュラムデザイン	授業改善に向けての具体的な手立て	◎成果 ●課題
知識・技能	<p>表したいことを思い付いて、意欲的に作っているが、まだ、用具の扱いが身につけておらず、表すための技能を自分の力でできていない児童がいる。(2年) (3年)</p>	<p>○「チョキチョキパフェ」「まどをあけると」(2年)</p> <p>○「くぎうちトントン」「ビー玉めいろ」(3年)</p> <p>◆「アスレチックハウス」(4年)</p>	<p>・ハサミ、のり、カッターといった基本的な用具の扱いに慣れ、思った通りに形にできたという経験を増やす。(2年)</p> <p>・のこぎり、釘打ち、転がる仕組みといった、手ごたえのある活動に取り組み、試行錯誤していくうちに技能が身につけていくようにする。(3年)</p>	<p>◎表すことに意欲的に取り組んでいる。取り組んでいるうちに自然と技能が身に付くような題材を設定できていた。</p> <p>●技能面で課題がある児童に対する個別の支援の充実。</p>
思考力・判断力・表現力等	<p>自分なりに表したいことを思い付き、表す技能をよく発揮している。技能の高さを生かした手ごたえのある題材に関心をもち、自分の活動を肯定的に捉えている。さらに発想を広げ、自分の見方や感じ方を深めていきたい。(4年)</p>	<p>○「ころがるころがる 大冒険ランド」「同じものいっぱい」(4年)</p> <p>◆「挑戦！ビー玉コースター」(6年)</p>	<p>・造形遊びを通じて、造形的な活動や新しい形や色を思い付き、発想や構想をしたり、自分の見方や感じ方を広げたりできるようにする。</p> <p>・グループ活動で人と関わり、自分との比較をしたり、認め合ったり、価値づけたりといった経験を重ねる。</p>	<p>◎人との関り、認め合いの中で力を発揮する姿が見られた。</p> <p>●これまで造形遊びの経験に乏しく、自分で活動をつくっていくことに戸惑いがある。経験を積んでいきたい。</p>
学びに向かう力・人間性等	<p>つくることに意欲的で、思い付いたことを形にしようと、これまでの経験を元に材料や用具を活用している。しかし、周囲の存在を意識し、表すことだけに没頭できずに躊躇する、自信が持てないといった姿も見られ、つくりだす喜びを味わっているとまでは言えない児童が多い。(5年) (6年)</p>	<p>○「光のオブジェ」(5年)</p> <p>○「白と黒 線のデザイン」(6年)</p>	<p>・つくることに没頭し、自分だけの世界に入りこむような環境をつくる。光や影に主体的に関わり、自分らしい活動の充実を図れるようにする。(5年)</p> <p>・線といった身近なものの面白さに改めて気づき、その繰り返しで広がっていく模様のよさを見つけながら、児童自らつくりだそうとする態度を養う。(6年)</p>	<p>◎新しい見方、考え方を見付け、自分の世界を広げていく機会となっていた。</p> <p>●自分らしい表現を追求していく姿勢を評価し、意識を変えていきたい。</p>